

# 手島アリサ

美大で  
イラストを  
極める!

現在・武蔵野美術大学(通称:ムサビ)に在籍する  
手島さんのイラストレーションは、  
繊細で美しく、奥行きのある物語性を感じる。  
さまざまなジャンルのクリエイターを輩出し続けている場所で、  
彼女は日々どういったことを考えているのだろう。



## 「食卓」

(ミュージカル団体CAMP)  
脚本: 水野葉都  
演出: 沼澤菜美

ミュージカルサークルに入部して  
2度目の公演「食卓」をテーマに  
制作。1人の男性の登場によって  
母親と養子の娘たちの家庭が崩  
壊していくさまを描いた物語で、  
手島さんは盲目の長女を演じた。

「日頃ムサビではどういう風に学んで  
いるんですか？」

視覚伝達デザイン学科では、デザインに対する考え方を基礎から学びます。プロダクトや建築のように課題に対する表現方法が決まっていないので、デザインや映像、イラストレーションなど、毎回一番いいと思う方法をきちんと調べてアウトプットするんです。私はイラストレーションを描くのが好きなので、その方向からのアプローチを積極的に考えていますね。でも、いろいろな授業があるので幅広くやりたいことが出来る学科だと思う。

「今、手島さんの主な表現方法はイラストレーションなんですね。」

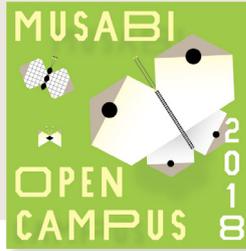
実は劇団に所属して演劇もやっています。相反するものに見えるんですけど、私の中でこの2つは結構密接な関係があるんです。演じる役のことがよく分からず悩んだ時に絵に描き出すと、モヤモヤした気持ちが消化されたり新しい発見があったりする。

昔から感情のグラデーションの一部を切り取って言葉にしているような感覚があって、言葉はいつも不完全なんです。でも、演劇をやったり、絵を描くことで感情を取りこぼさず表現出来る気がする。多弁ではないので適切な言葉を選んで説明することが苦手なんです。言葉に出来ない気持ちを表現するツールとして今まで絵を描いてきたのかなって最近思います。卒業制作では、そうやって言葉について考えていることをうまく形にしたいです。

「美大の魅力を教えてください。」  
一番よかったのはいろいろな人に出

武蔵野美術大学

問合せ 入学センター(9:00~16:30/日・祝を除く)  
 住所 〒187-8505東京都小平市小川町1-736  
 TEL 042-342-6995  
 E-mail nyushi@musabi.ac.jp  
 公式HP <http://www.musabi.ac.jp>



EVENT

真夏の  
オープンキャンパス  
2018開催!

8月18日(土)・19日(日)  
両日10:00~16:00

予約不要・入退場自由、  
詳細は下記にて随時更新中。  
<http://www.musabi.ac.jp/admission/event/opencampus>



「トランプ」

古いや神話への興味からタロットカードやピエロについて調べ始め、そこからさらにトランプというモチーフにたどり着き描いた作品。



「探検記録ノート」

地域のコミュニティデザインを考えることを目的に、近隣の小学校で図工の授業などワークショップを行った。その一環で制作したノートの表紙イラストレーション。



手島アリサ

Tejima Alisha

武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科4年生。学内のミニ・シカルサークルに所属後、2018年劇団BOMBO入団。  
Tumblr@alishatejima

会って、知らなかった世界をたくさん知れたことです。特に視覚伝達デザイン学科にはさまざまな技法で制作する人がいて興味を持っていることもそれぞれ違うし、教授たちもそれぞれの個性を殺さずに作品をよく見せるための考え方を教えてくれる。そのおかげで視野がすごく広がりました。演劇を始めたのも、最初は友だちの影響だったんですよ。

高校生の頃は「専門外のことをやるのは自分のためになるのかな？」って、実は考えていました。でも、今なら手取り足取り専門的な技術を学ぶより、そういうことの方が重要だと分かります。技術があっても、感性がない絵は面白くないから。日々違う表現や考えに触れることで創作意欲を掻き立てられ描き続けられているのは、出会いや経験があつてのことなんですよ。